



2021年2月2日

各位

会社名 TOA株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 竹内一弘  
 (コード番号 6809 東証第一部)  
 問合せ先 経理部長 吉田圭吾  
 (TEL. 078-303-5620)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向などを踏まえ、2020年5月13日に公表した連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 通期業績予想の修正について

2021年3月期 連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 40,500	百万円 700	百万円 750	百万円 600	円 銭 18.45
今回修正予想 (B)	40,500	1,800	1,850	1,100	33.67
増減額 (B-A)	—	1,100	1,100	500	
増減率 (%)	—	157.1	146.7	83.3	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	45,068	3,465	3,577	2,065	60.99

## 2. 修正の理由

売上高については、新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大を受けた環境下において、日本セグメント、アジア・パシフィックセグメントでの販売が前回予想を下回る見込みとなる一方で、欧州・中東・アフリカセグメント、アメリカセグメントでの販売が想定を上回ったため、売上高全体では総じて前回発表予想通りに推移しております。

営業利益、経常利益につきましては、欧州・中東・アフリカセグメント、アメリカセグメントにおいて、売上高の増加に伴い、営業利益が増加する見込みです。また、その他のセグメントにおいても、新型コロナウイルスの影響を最小限にとどめるため、全社でデジタル活用による業務効率化を加速させたことや、投資優先順位の精査と更なるコスト低減に努めたことなどにより、グループ全体で営業利益は前回発表予想を上回る見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、当初見込んでいた資産売却の見送りによる利益の減少はあるものの、前回予想を上回る見通しです。

※本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上